



二俣川小だより

5月号

横浜市立二俣川小学校 令和2年5月7日

校長 泉 太郎



一日も早い終息を願い

泉 太郎

4月21日（火）、校庭開放の日。校庭の隅から子どもたちの様子を見てみると、楽しそうにかけ回ったり、遊具で遊んだり、見守りの先生と話をしたりしています。「これが本来の学校の姿だな」と思いました。しかし、学校は3月2日以来、入学式・始業式等の行事日を除き臨時休業が続いています。その間、緊急事態宣言も発令され、それも、5月31日まで延期されることになりました。

ご家庭では、子どもたちも保護者の皆様も不安な毎日を過ごされていると思います。学習や行事をはじめ今後の学校のこと、家で一日過ごさなければならない生活のこと、そして、新型コロナウイルス感染症のことも含め健康のことなど。

教職員もまたこの先のことやいつもとは違う勤務体制に戸惑いや不安を感じています。毎日子どもたちと過ごし、授業をすることが当たり前だった生活から2か月余りが経ちました。新年度になったものの、緊急受入れの子どもたちや校庭開放で学校に来る子どもたち以外は、クラスの子も一日ないし二日しか過ごしていません。それでも、いつ学校が再開されても子どもたちが安心して学校生活を送ることができるように、授業の準備や教室の環境整備に取り組んでいます。

5月31日まで一斉休業が延期されたことで、子どもたちにはさらに負担をかけることとなります。学校としても新たな学習課題の提示や教育相談等に取り組んでいきます。ご心配なこと、ご不安なことがありましたら学校までご連絡ください。

学校が再開されても通常の教育活動に戻るまでには時間がかかることが予想されます。運動会を10月31日（土）に延期したように、今後予定している教育活動についても延期・中止等、見直しをしていかなければいけないものもあります。学校は国や横浜市教育委員会の方針に沿い、保護者、地域の皆様にできるだけ早くお伝えしていきたいと考えています。しかし、今は一日も早い感染症の終息を願い、子どもたち、保護者の皆様、地域の皆様、教職員が感染することのないよう、感染症拡大防止に努めていきたいと思っております。保護者の皆様、地域の皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

★「わいせつ・セクハラ」「いじめ」校内相談窓口について

本校における子どもに対するわいせつ・セクハラ行為、またはいじめに関する相談窓口担当者は、養護教諭 吉田万喜子と、児童支援専任教諭 大原崇英です。子ども自身でも、保護者の方でも、気になることがありましたら、ぜひご相談ください。また、一般教育相談を含め、教育総合相談センターも利用できます。 671-3726~8